

2022年11月20日

No. 6 3 6

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

令和5年度畜産関係予算等要望活動

福島県畜産関係団体連絡協議会



県内18団体で構成する県畜産関係団体連絡協議会（会長：紺野宏）は、9月20日に内堀雅雄県知事を始め県議会等に対し、次年度の畜産関係予算等について要望しました。

要望内容は以下のとおりです。

1 畜産生産基盤の再生拡大対策

経営者の高齢化、後継者不足、設備等の老朽化が顕在化しており、安定的な生産基盤の維持・拡大に向け、家畜及び先進技術の導入、さらには施設・機械の整備等に対する支援をすること。

今までに経験したことがない非常に厳しい畜産情勢に対する支援及び大震災により脆弱化した生産基盤を再生拡大するために積極的な対策を講じること。

- (1) 酪農生産基盤安定確保対策
- (2) 肉用牛生産基盤安定確保対策
- (3) 養豚・養鶏生産基盤安定確保対策
- (4) 畜産ICT機器等の導入および施設・機械等の整備対策
- (5) 避難指示解除地域及び避難休業畜産農家経営再開対策

2 配合飼料価格安定制度の見直し及び県独自の支援

現行の配合飼料価格安定制度について、飼料価格の高騰が継続して上昇した場合は、十分な補てんが受けられない仕組みとなっていることや補てん金の支出に時間を要することから、補てん機能が機動的に発揮されるよう、制度の見直しを国に要望すること。

また、経営に及ぼす影響を緩和するため、輸入粗飼料を含む飼料購入コストを下げる県独自の支援を講じること。

3 堆肥等の流通対策及び自給飼料生産基盤強化対策

避難指示解除地域など堆肥の広域流通を図るため、運搬経費に対する助成や耕種農家との流通・マッチングによる積極的な利用促進並びにコントラクター組織等が取り組む収穫機械等の導入支援を行うなど、自給飼料の生産基盤の強化に向けた支援すること。

また、国産飼料（子実用トウモロシ等）の生産拡大と安定確保に向け、現地での実証栽培データに基づく経営モデル・経営指標の策定をすること。

4 肉用牛肥育経営安定対策(牛マルキン制度)及び肉豚経営安定対策(豚マルキン制度)の見直し

本県産牛肉については、原発事故後、風評によって他県産との価格差が今も続いている中、国は算定方式を都道府県単位から地方ブロック単位へ変更したことから、福島県の交付金単価は大幅に減額となり、経営継続が危機的状況にあるため、生産者が安心して経営できるよう牛マルキン制度（肉専用種・交雑種）を本県の実態に即した算定方式に見直すことを国に対して強く要望すること。

また、過去に類を見ない配合飼料・乾牧草等粗飼料、燃油等生産資材の高騰に対して、生産者が経営継続できるよう緊急的な対応について国に要望すること。

5 県産畜産物の風評払拭並びに流通消費対策

本県畜産物への風評は根強く、いまだに適正な評価を得られない状況が続いていることから、知事によるトップセールスの展開やマスメディア等を有効に活用するなど消費者及び流通・小売業者等に対し、行政による正確

な情報発信と理解醸成による風評の払拭並びに観光関連業者等との連携強化や地産地消と食育の推進による消費拡大のための対策強化をすること。

また、本県産畜産物の福島ブランドの再構築に向け、食の安全を保証する第三者認証GAPの取得およびHACCP導入に向けたきめ細かな支援をすること。

6 産業動物診療獣医師の確保定着対策

産業動物獣医師は、家畜の疾病治療や各種伝染性疾患の防疫対策にとどまらず、畜産農家の経営安定化のための

飼養・衛生管理指導を行うなど畜産業の維持発展に必要不可欠な存在でありながら、獣医学を専攻する学生の多くは小動物に係る獣医師を希望する人が多いため、本県における産業動物関係の獣医師は慢性的に不足していることから、将来にわたる獣医師確保に向けて、組織を超えた獣医学学生実習制度の構築及び県と関係団体による合同説明会の実施等、産業動物獣医師の確保・定着に向けた支援をすること。

配合飼料・輸入粗飼料高騰に関する対策事業について

福島県農林水産部畜産課

1 畜産配合飼料価格高騰対策事業

海外穀物価格の高騰、海上運賃の高騰、為替の円安傾向により、配合飼料価格は高止まりの状況にある。配合飼料価格が高騰した際に補てん金が畜産経営者に交付される国の制度として配合飼料価格安定制度が設けられているが、今年度4月から生産者の積立金が引き上げられた。こうした状況下において、畜産経営者の積立金の一部を支援する。

- (1) 補 助 対 象 配合飼料価格安定制度の生産者積立金の一部
- (2) 補 助 率 300円以内/トン (定額)
- (3) 事業実施主体 福島県配合飼料価格安定基金協会、福島県酪農業協同組合、JA全農北日本くみあい飼料株式会社福島営業所
- (4) 事業費 90,000千円
- (5) 事業期間 令和4年度

【事業内容】

(背景・目的)

現在、海外穀物価格の高騰、海上運賃の高騰、為替の円安傾向により、配合飼料価格は高止まりの状況にある。畜産経営における飼料費の経営コストに占める割合は高く、畜産経営における利益は急減している。

配合飼料価格が高騰した際に補てん金が畜産経営者に交付される国の制度として、配合飼料価格安定制度が設けられているが、今年度から畜産経営者の負担金が引き上げられている。(令和3年度：400円/トン → 令和4年度：600円/トン)

こうした状況下において、配合飼料価格安定制度の畜産経営者の負担金を助成することで、畜産経営の安定化を支援する。

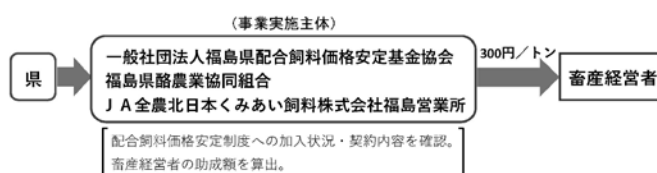
〈事業内容〉 配合飼料価格安定制度の積立金負担を支援。

〈助成対象者〉 配合飼料価格安定制度に加入している畜産経営者

〈要件〉 申請時点等を含めて畜産業を継続する畜産経営者であること。

〈助成数量〉 助成対象となる配合飼料数量は配合飼料価格安定制度に係る令和4年度契約数量とする。

【事業イメージ(補助金の流れ)】



2 酪農輸入粗飼料価格高騰対策事業

海上運賃の高騰、為替の円安傾向等により輸入粗飼料価格が高騰していることから、本県の酪農家の厳しい経営状況への影響を緩和するため、緊急的に輸入粗飼料を購入している本県酪農家に対し、購入費用の一部を補助する。

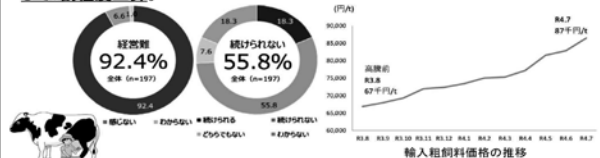
- (1) 補 助 対 象 令和4年4月1日から令和5年3月10日までに購入した年度内に利用する輸入粗飼料
- (2) 補 助 率 5,000円以内/トン (定額)
- (3) 事業実施主体 福島県酪農業協同組合、全国農業協同組合連合会福島県本部等
- (4) 事業費 94,800千円
- (5) 事業期間 令和4年度

【事業内容】

○ 酪農家の現状

・一般社団法人中央酪農会議が2022年6月15日に実施した「日本の酪農経営実態調査」では、酪農家の92.4%が過去1年間に「経営が困難」と感じ、現在の環境が続いた場合、酪農家の55.8%が「経営を続けられない」と回答。

・海上運賃の高騰、為替の円安傾向等により、輸入粗飼料価格は1年前と比較して3割程度上昇。



・特に、本県の酪農家は、震災前にはクラスター事業等を活用して自給飼料の増産に取り組んできたが、原発事故の影響により牧草地の面積が大幅に減少しているため、輸入粗飼料への依存度が大きくなり、輸入粗飼料価格の高騰が経営に与える影響が極めて大きい。

・肉用牛ではマルキン(牛)、肉用子牛生産者補給金のような生産コストの増加に対応可能なセーフティネットの制度があるが、乳用牛には輸入粗飼料価格上昇時に対応できる支援はない。*

*酪農家の生産コストの増加は、通常、乳業メーカーとの乳価交渉により一定の転嫁が図られるが、現在の飼料高騰には対応できていない状況。

○ 本県酪農家の経営状況は危機的な状況にあることから、経営が継続できるよう、輸入粗飼料の価格上昇分への緊急支援が必要

○ 事業内容

(1) 輸入粗飼料価格上昇への補助(生産者団体経由)

- 対 象 本県酪農家
- 補助率 5千円以内/t(定額)
- 事業費 94,200千円

(2) 事務経費

- 対 象 生産者団体等
- 事業費 600千円

みどりの食料システム戦略の実現に向けて

東北農政局福島県拠点

昨年9月発行の「畜産福島」第629号で、「みどりの食料システム戦略における持続的な畜産物生産に向けた課題と方向性」について紹介しました。「みどりの食料システム戦略」については、その実現に向けた法制度を創設し、化学肥料・化学農薬の使用低減や有機農業の拡大、環境負荷低減に資する技術開発、消費者の選択を容易にする「見える化」等の施策を着実に実施し、2050年の実現を目指しています。今号ではこうした動きをお伝えします。

1 みどりの食料システム法

本年4月に、「みどりの食料システム法（環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号）」）が可決、成立し、7月に施行されました。本法律は、みどりの食料システムの確立に関する基本理念を定めるとともに、農林漁業に由来する環境への負荷の低減を図るために行う事業活動等に関する計画を認定し、税制・融資等の支援措置を講ずることにより、農林漁業及び食品産業の持続的な発展、環境への負荷の少ない健全な経済の発展等を図るものです。

9月に、農林水産省は、みどりの食料システム法に基づ

く国の基本方針及び制度の対象となる事業活動を定める農林水産大臣告示を制定・公表し、同法に基づく基盤確立事業実施計画の認定申請、市町村及び都道府県が共同で作成する基本計画の協議の受付を開始しました。

化学肥料や化学農薬の使用低減に取り組む農業者やこれらに資するペレット堆肥等の資材の製造・供給を行う事業者は、みどりの食料システム法の認定を受けた計画に従って機械・設備等を導入した場合、当該設備等の導入にみどり投資促進税制（特別償却）の適用が受けられ、導入当初の所得税・法人税が軽減されます。

農林水産省では、現場で速やかに税制措置を御活用いただけるよう、地方自治体の基本計画の作成を伴走支援するとともに、機械・資材メーカーに対して税制の活用促進に向けて情報提供を行っています。

なお、10月28日には「滋賀県みどりの食料システム基本計画」が公表されました。本計画は、同法に基づく全国初の基本計画となります。

また、11月1日に、農林水産省は基盤確立事業の認定第1弾として6者の基盤確立事業実施計画の認定を行いました。特に畜産関連では、JA佐久浅間等が地域の家畜排せつ物を収集し、ペレタイザー等の設備投資にみどり投資

みどりの食料システム法※のポイント

※ 環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律（令和4年法律第37号、令和4年7月1日施行。）



図1：みどりの食料システム法のポイント

促進税制を活用し、ペレット堆肥の増産や広域流通に取り組むこと等としています。

今後、各事業者が認定を受けた計画に基づき、各事業者の取組が現場に波及し、化学肥料・化学農薬の使用低減等の取組が広がることを期待するとともに、引き続き地方自治体や事業者との情報交換に努め、本制度の活用を促していく考えです。

2 温室効果ガス削減の「見える化」

農業由来の温室効果ガスの削減には、みどり戦略にあるような化石燃料、化学肥料や化学農薬の削減等の環境負荷低減の取組が効果的です。このため農林水産省では、こうした取組を行っている生産者の努力を的確に評価し、その努力を分かりやすく消費者に伝える方法として、温室効果ガス削減「見える化」算定シートを作成しました。これを活用することで、消費者が地球環境に良い農産物を選択できる環境を整える考えです。

温室効果ガス削減「見える化」実証事業を通じて、温室効果ガスの削減効果を星の数で表示（見える化）した農産物（令和4年度はコメ、トマト、キュウリ）の実証販売を行っています。消費者への訴求についても検証します。

3 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

生産現場に役立つ技術を広く情報発信するために、技術カタログを作成しました。近年（直近10年程度）開発された技術で、みどり戦略で掲げた各目標の達成に貢献しうる、現場への普及が期待される技術をまとめたものです。畜産関係では、「堆肥の好気性強制発酵のための装置」や「家畜排せつ物中の有用物質（窒素）及びエネルギーの高効率な回収・活用技術の開発」などを掲載しています。さ

らに、技術カタログ第2弾（11月8日公表）では、牛のゲップに含まれるメタン排出の抑制対策として、脂肪酸カルシウムを飼料に混ぜメタン発生量を削減する給与技術が紹介されています。

4 最後に

本戦略は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性を両立させるための新たな政策方針であり、これまでにない戦略となっています。近年、持続可能性は国際的な潮流となっています。我が国食料・農林水産業もこれら環境やSDGsへの確に対応することで、国際ルールメイキングに積極的に参画していくとともに、我が国食料・農林水産物の価値を高め、農林水産物・輸出の後押しになることが期待されます。気候変動をはじめとする環境対策を「コスト」とネガティブに捉えるのではなく、こうした取組を成長への機会と捉え、我が国の食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と地球環境の両立を目指すことが重要であり、農林水産省としても現場の関係者と一丸となって、全力で取り組んでまいります。

農林水産省では、引き続き、みどり戦略の推進に向けて、みどりの食料システム法の運用を含め、あらゆる機会を通じて、情報発信と広報活動に力を入れてまいります。「みどりの食料システム法の支援措置を活用して環境負荷低減に取り組みたい」「新しい機械の購入を考えているので、みどり税制を使ってみたい」などのリクエストがあれば、農林水産省の担当官がお話をお伺いして、可能な限り対応いたします。

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎（〇二四三）六三一―四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎（〇二四）五五三一―六六七八

郡山市安積町笹川字の上二
☎〇一一〇―四五一―四六四

日本全薬工業株式会社
福島営業所

郡山市開成六丁目六七一
☎（〇二四）九五四―四一七一

株式会社アグロジャパン
南東北営業部（福島）

伊達市梁川町字東塩野川五十一
☎（〇二四）五七七―三二二

日新殖産株式会社

本宮市本宮字下台18―12
☎（〇二四三）六三一―二四八八

株式会社アスコ

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう」

●品質と信頼の●



くみあい配合飼料



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

本社

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店
〒963-0725

福島営業所
郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

第38回 福島県ホルスタイン共進会開催！ 20頭が出品される!!

福島県乳牛改良推進協議会

福島県乳牛改良推進協議会（会長 円谷勝幸）主催による第38回福島県ホルスタイン共進会（農林水産祭参加事業）が、10月22日（土）に本宮市の福島県家畜市場において開催されました。また、共進会開会式では、令和4年度優良酪農家選奨者を発表し、代表者を表彰しました。

当日は晴天で天気にも恵まれ、日頃から手入れの行き届いた20頭の愛牛が県内各地より出品されました。審査委員長には福島県農業総合センター畜産研究所所長 坂本秀樹氏、審査委員には北海道帯広市 酪農家 杉浦 尚氏を迎え、未經産三部門、経産三部門の計6部門に分かれ審査が行われました。

各部厳正な審査の結果、見事グランドチャンピオンの栄冠には石川郡石川町の岩谷金良さん所有の「カシワ プラ

アトウ パリツシユ アデイダス」号が輝き、農林水産大臣賞を獲得、リザーブグランドチャンピオンには福島市の鈴木奨悟さん所有の「ヒルトンステージ ダイヤモンドバック エンドレス」号が選ばれ農林水産省畜産局長賞を獲得、準リザーブチャンピオンには田村市の白土達也さん所有の「ホワイティヒル ゴールド チツプ メラニン」号が選ばれ農林水産省東北農政局長賞を獲得しました。

末筆になりますが、本共進会開催につきまして、福島県をはじめ関係団体、各業者の皆様からのご後援やご協賛を賜りました。コロナ禍でありましたが、県内外問わず、多くの方にご来場いただき、出品者・関係者の皆様のご協力のもと、無事に開催できました。心より感謝を申し上げます。



* 令和4年度 福島県牛群改良優良酪農家選奨者一覧 *

1. 牛群検定の部 国の乳用牛群検定事業の実施農家であり、前年度の検定終了成績が基準以上の優良酪農家。

令和3年度牛群検定成績より

遠藤 直人（JAふくしま未来） 柏原 忠仁（JA福島さくら） 安齋 洋志（県酪 県北）
木目沢 初実（県酪 県南） 全国酪農業協同組合連合会（県酪 県南）

2. 牛群審査の部 牛群審査成績が優秀な酪農家。

令和3年度牛群審査成績より

20頭以上 （株）T・ユニオンデーリイ（県酪 浜） 添田 勉（県酪 県南）
20頭未満 （公財）郡山市観光交流振興公社（県酪 県中） 白土 達也（県酪 県中）

3. エクセレント獲得牛の部 体格審査で体格得点90点以上を新規に獲得した牛の所有者。

令和3年度体格審査成績より

岩谷 金良	（県酪 県南）	90点	サニーヒル ピース ダビンチ
（株）T・ユニオンデーリイ	（県酪 浜）	90点	T.ユニオン ドアマン ジュディー
円谷 勝幸	（県酪 県南）	90点	サークルパレー エモーション ピーナス
（公財）郡山市観光交流振興公社	（県酪 県中）	90点	コムスター レベツカ オブザーバー
（公財）郡山市観光交流振興公社	（県酪 県中）	90点	インローン アリシア ゴールドチツプ
添田 勉	（県酪 県南）	90点	TOM アットウッド アトリー
添田 勉	（県酪 県南）	90点	TOM ファイバー フェツション

4. 血統登録多頭申請の部 血統登録申請頭数上位者。

令和3年度血統登録申請頭数より

雪割牧場 有限会社	（県酪 県南）	123頭	株式会社 フェリスラテ	（県酪 県北）	104頭
有限会社 サトーフาร์ม	（県酪 県北）	61頭	ミネロファーム	（県酪 県北）	60頭
株式会社 佐久間牧場	（JA福島さくら）	43頭	鈴木 明彦	（県酪 県南）	41頭
有限会社 グリーンサブナラ	（県酪 県南）	38頭	農事組合法人 蛭田牧場	（JA福島さくら）	35頭
福田 匠	（県酪 会津）	31頭	成田 昌弘	（JA会津よつば）	29頭

畜 産 福 島

第38回福島県ホルスタイン共進会 褒賞牛 一覧表

審査委員長 福島県農業総合センター畜産研究所 所長 坂本 秀樹 氏
 審査委員 北海道帯広市 酪農家 杉浦 尚 氏

開催月日：令和4年10月22日（土）
 共進会会場：福島県家畜市場（本宮市関下）
 出品名簿頭数：27頭 出場頭数：20頭 欠場頭数：7頭

区 分	本 牛 名 号	父 牛 名 号	生年月日	市町村	出品者 氏名
農林水産大臣賞 (グランドチャンピオン)	カシワ プラアトウ パリツシュ アデイダス	レイバー ナイアグラ パリツシュ ET	H30.3.5	石川郡石川町	岩谷 金良
農林水産省 畜産局長賞 (リザーブチャンピオン)	ヒルトンステージ ダイヤモンドバツク エンドレス	ミスター D アツプル ダイヤモンドバツク	R1.7.15	福島市	鈴木 奨悟
農林水産省 東北農政局長賞 (準リザーブチャンピオン)	ホワイトヒル ゴールド チツプ メラニン	ミスター チヤンティアー ゴールド チツプ ET	R3.8.8	田村市	白土 達也

部別	受賞	本 牛 名 号	父 牛 名 号	生年月日	市町村	出品者 氏名
第1部	優等賞	イワノー ダンテ ラピスラズリ	MR マツカット ダンテ 1407 ET	R3.12.7	岩瀬郡鏡石町	福島県立岩瀬農業高等学校
第2部	優等賞	ホワイトヒル ゴールド チツプ メラニン	ミスター チヤンティアー ゴールド チツプ ET	R3.8.8	田村市	白土 達也
第3部	優等賞	バンダイデール ドアマン アンドレ	バルビツソン ドアマン ET	R3.6.4	耶麻郡磐梯町	足利 秀忠
第4部	優等賞	ヒルトンステージ ブラツクピュート	ダケツ クラツシュ タトゥー ET	R2.1.8	福島市	鈴木 奨悟
第5部	優等賞	ヒルトンステージ ダイヤモンドバツク エンドレス	ミスター D アツプル ダイヤモンドバツク	R1.7.15	福島市	鈴木 奨悟
第6部	優等賞	カシワ プラアトウ パリツシュ アデイダス	レイバー ナイアグラ パリツシュ ET	H30.3.5	石川郡石川町	岩谷 金良

👑 グランドチャンピオン



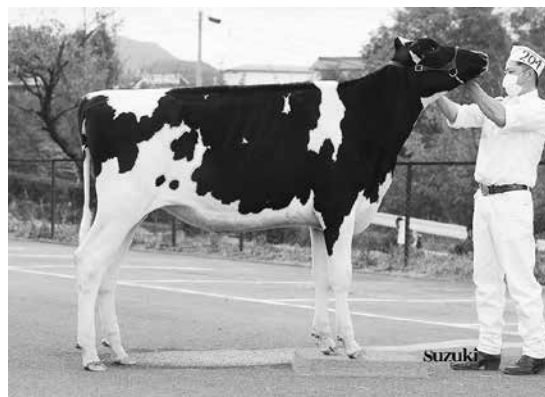
「カシワ プラアトウ パリツシュ アデイダス号」
 石川郡石川町 岩谷金良さん

👑 リザーブチャンピオン



「ヒルトンステージ ダイヤモンドバツク エンドレス号」
 福島市 鈴木奨悟さん

👑 準リザーブチャンピオン



「ホワイトヒル ゴールド チツプ メラニン号」
 田村市 白土達也さん

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）
 TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
 おいしい
 はちみつはいかが！



第43回 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会 開催



福島県牛乳普及協会

福島県牛乳普及協会主催（会長 紺野宏）の、第43回牛乳・乳製品利用料理コンクール福島県大会が10月20日福島県学校給食会にて開催されました。

福島県内の高校生以上を対象に料理を募集し、483点の応募作品の中から書類審査で選ばれた10名が実技審査で腕を振りました。

畑中料理研究所の畑中成純所長が審査委員長を務め、審査では牛乳・乳製品を基準量以上使用した上で、料理のし

やすさやアイデアの斬新さ、おいしさを採点しました。

地元や旬の食材と牛乳・乳製品を使った、アイデア・個性豊かな作品が出来上がりました。

最優秀賞・県知事賞には福島県立あさか開成高等学校の釣巻永奈さんの「アボカドクリームチーズ豆腐」が選ばれました。12月には、料理コンクールの作品を載せた「レシピ集」を作成しますので、皆さん楽しみにしていてください！



最優秀賞・県知事賞：釣巻 永奈さん
あさか開成高等学校
「アボカドクリームチーズ豆腐」



優秀賞：永崎 紅亜さん
郡山女子大学附属高等学校
「湯葉と半熟卵のトロトロオムライス
～3種の濃厚チーズソースがけ～」

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました！！

カーボアップEX ブラック



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL：www.zenoaq.jp

「ふくしま赤しゃも」の能力は維持・継承されている

「ふくしま赤しゃも」は、福島県農業総合センター畜産研究所で改良し、川俣町に種鶏供給しています。この種鶏をもとに川俣町で生産、肥育、出荷されたものがブランド地鶏「川俣シャモ」として広く知られています。「川俣シャモ」は、旨みに優れ、適度な歯ごたえのある地鶏で、福島県ブランド認証製品のひとつです。この父親である「大型しゃも」は、造成開始から23世代が経過し、近交係数が上昇しつつあるため、次世代の「大型しゃも」の作出に取り組んでいます。今回、現在の「大型しゃも」を父とする「現しゃも」と、次世代の「大型しゃも」を父とする「新しゃも」とで発育や飼料効率等の生産性、旨味や食感等の肉質について確認するため、能力調査を実施しました。

当所で「現・新しゃも」雌雄各60羽、計240羽を生産し、114日間（令和3年6月2日～同年9月24日）調査しました。飼養管理は、「川俣シャモ」飼育マニュアルに則り平飼飼養（3～5羽／㎡）し、川俣シャモ専用飼料を給与しました（表1）。

表1. 給与飼料

区	性別	羽数	1～18日齢	19～35日齢	36日齢～
新しゃも	雄	60	CP 23% ME 3,050kcal/kg	CP 19% ME 3,050kcal/kg	CP 17% ME 3,000kcal/kg
	雌	60			
現しゃも	雄	60			
	雌	60			

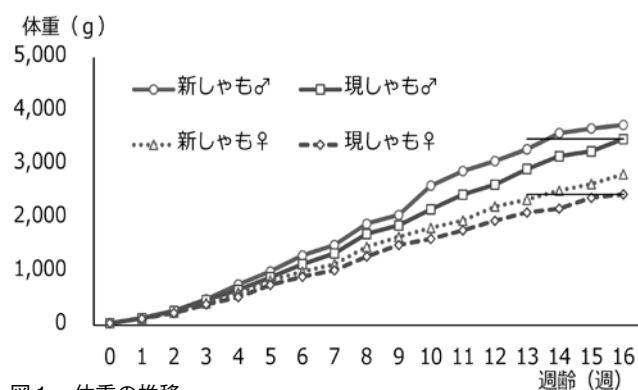


図1. 体重の推移

表2. 114日齢飼料摂取量および飼料要求率

性別	区	飼料摂取量 (kg/羽)	飼料要求率 ^{注1)}
雄	新しゃも	12.2	3.27
	現しゃも	10.7	3.07
雌	新しゃも	10.1	3.57
	現しゃも	8.6	3.52

注1) 飼料要求率＝体重が1kg増加するのに必要な飼料の重量（kg）

表3. 114日齢産肉成績

性別	区	と体重 (g)	モモ肉割合 (%)	ムネ肉割合 (%)	ササミ肉割合 (%)	正肉割合 ^{注2)} (%)
雄	新しゃも	3,346 ± 100	21.8 ± 0.9	13.2 ± 0.9	3.2 ± 0.2	38.4 ± 1.2
	現しゃも	2,957 ± 99	21.5 ± 1.1	14.0 ± 0.7	3.5 ± 0.3	39.1 ± 0.4
雌	新しゃも	2,510 ± 85	21.0 ± 1.1	15.2 ± 0.8	3.6 ± 0.3	39.9 ± 1.4
	現しゃも	2,262 ± 72	20.9 ± 1.2	15.0 ± 0.6	3.7 ± 0.3	39.7 ± 1.0

注2) 正肉割合＝モモ肉、ムネ肉、ササミ肉重量の合計 / 生体重

オーブンを用いて250℃・5分の条件で加熱調理し、部位ごとに評価しました。結果、全質問項目について差は認められず、「現しゃも」と「新しゃも」の食味は変わらないことがわかりました（表4）。

脂肪酸組成分析結果では、「新しゃも」と「現しゃも」

で大きな差は認められませんでした（表5）。

以上のことから、「新しゃも」は発育・生産性に優れ、「現しゃも」の味、香りや歯ごたえ、脂肪酸組成が維持されていることを確認しました。今後も、種鶏利用開始に向けて次世代の「大型しゃも」の改良に取り組んでまいります。

表4. 官能評価結果

質問項目	ムネ肉		モモ肉		ササミ肉	
	新しゃも	現しゃも	新しゃも	現しゃも	新しゃも	現しゃも
香りが好ましい	14	16	16	14	15	15
食感が好ましい	14	16	16	14	15	15
味が好ましい	16	14	18	12	16	14
全体として好ましい	13	17	17	13	16	14
バサバサしている	17	13	14	16	13	17
歯ごたえがある	16	14	20	10	16	14
味が強い	15	15	13	17	17	13

表5. 脂肪酸組成

区	部位	脂肪酸組成 (%)				
		パルミチン酸	オレイン酸	リノール酸*	α -リノレン酸*	アラキドン酸*
新しゃも	モモ肉	23.6	36.8	16.9	0.8	3.2
	ムネ肉	24.2	31.8	14.6	0.6	7.7
	ササミ肉	24.4	31.0	15.6	0.5	7.2
現しゃも	モモ肉	22.6	36.6	18.0	0.8	3.7
	ムネ肉	22.7	30.6	14.6	0.5	9.3
	ササミ肉	23.0	29.5	15.8	0.6	8.8

*必須脂肪酸

会津地鶏
川俣シャモ
伊達鶏

「ふくしま三大ブランド鶏」を全国へ！

ふくしま三大ブランド鶏推進協議会では、2022年10月に2つのイベントを行いました。

一つ目は10月16日（日）に、東京・新宿区にある荒木町公園で行われた「荒木町秋祭り」です。四谷三丁目駅に近い荒木町は、かつての花街として知られ、粋な風情漂うノスタルジックな通りに新旧魅力的な飲食店が立ち並ぶ素敵な街です。そして、幕末の会津藩主・松平容保公の出生地でもあります。

そんな福島県ゆかりの地で行われた荒木町商店街のお祭

ふくしま三大ブランド鶏推進協議会

りは、近所の子どもたちも楽しみにしているとの話を聞き、私たちは炭火で焼いた丸鶏を、親子でさばいてもらう「親子で参加！丸鶏のさばき方教室」と、正解すると三鶏を食べることが出来る「鶏クイズ」、そして鶏出汁で作った「鶏芋煮」の提供を行いました。いずれも好評でしたが、特に印象的だったのは、子どもたちが丸鶏を楽しそうにさばいている笑顔や、鶏芋煮を食べた方が「この鶏出汁美味しい〜！」と言って、周囲の方へ福島で作った芋煮であることを説明してくれていたことなどです。



荒木町秋祭り



丸鶏さばき方教室

物販イベントなどは、その時の販売だけになりがちですが、子どもや親へ丸鶏のさばき方を教え、鶏に関するクイズを行うなど、鶏をテーマにして学ぶ「鶏育」は、地道に継続していくことで、福島の三大鶏を身近に感じてもらい、ファンになって頂く大切な取組だと思います。

また、今後は人口の多い東京などの大都市圏に対して、認知度を上げていくことも課題であり、様々な形態でのコラボレーションも必要だと考えています。

二つ目のイベントは10月18日(火)に福島市において、主に飲食店や旅館の料理人の皆様を招き、「ふくしま三大ブランド鶏」の食べ比べ試食会を行いました。三つの鶏を同時に食べ比べることで、味や香り食感などの違いが分かることから、今後、飲食店や旅館のメニューとして、「ふくしま三大ブランド鶏」をお客様へ楽しんでもらう可能性を模索して頂きました。

企画運営に際しては、福島学院大学と連携して参加者への声掛けや、当日の手伝いを学生にも行ってもらい、また、天栄村のアルファ

電子(株)さんが製造する米粉の麺『う米めん』を、川俣シャモスープに合わせて提供するなど、各方面から協力を頂き、手探りで進めた初めての企画でしたが、メディア各社の関心度も高く、テレビ放映や新聞記事で紹介され、今後の可能性を感じることが出来ました。

コロナ禍や物価高などで先行き不安な状況ではありますが、会津地鶏・川俣シャモ・伊達鶏の「ふくしま三大ブランド鶏」が全国から認知され、来県の楽しみの一つとなることで、地域の活性化にもつながり、更には福島の人たちが、地元を誇りを持ち、素晴らしいふるさとであると思ってもらえることを目指し、その実現に向け、引き続き頑張りたいと思います。



「ふくしま三大ブランド鶏」の食べ比べ試食会

アグリカレッジ福島（福島県農業総合センター農業短期大学校） 令和5年度 学生募集

実践的な農業の技術力と経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成するため、学生を次により募集します。

1 募集の概要

項 目	一般入校試験			
	前期募集		後期募集	
募集人員	水田経営学科 野菜経営学科 果樹経営学科 花き経営学科 畜産経営学科	合計10名程度	水田経営学科 野菜経営学科 果樹経営学科 花き経営学科 畜産経営学科	合計5名程度
願書受付期間	令和4年11月18日(金)から11月30日(水)まで		令和5年1月11日(水)から1月31日(火)まで	
変更届受付期間	令和4年12月2日(金)から12月5日(月)まで		令和5年2月3日(金)から2月8日(水)まで	
試験日	令和4年12月8日(木)		令和5年2月10日(金)	
試験科目	(1)学力試験 ア 国語総合 イ 数学Ⅰ (2)面接試験		(1)学力試験 ア 国語総合 イ 数学Ⅰ (2)面接試験	
合格発表	令和4年12月15日(木)		令和5年2月20日(月)	

3 問い合わせ先

福島県農業総合センター農業短期大学校農業経営部入試担当

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1

TEL：0248-42-4113 FAX：0248-44-4553

E-mail：nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp

肉用子牛生産者補給金制度発動状況

令和4年度第2四半期（令和4年7月～9月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種	交 雑 種
保 証 基 準 価 格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合 理 化 目 標 価 格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平 均 売 買 価 格	605,400	536,800	—	149,500	275,400
補 給 金 単 価	—	—	—	14,500	—

※「その他の肉専用種（日本短角種等）」については、令和2年度より算定期間を1年（4月～3月）としています。

令和4年度第2四半期においては、乳用種について、平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから、生産者補給金（補給金単価：14,500円／頭）が交付されることとなりました。

優良肉用子牛生産推進緊急対策事業発動状況

令和4年11月9日付けで機構より公表された全国平均価格は以下のとおりです。

黒毛和種について、九州・沖縄ブロックの平均価格が、発動基準Aを下回ったため、1万円／頭の奨励金が、褐毛和種及びその他の肉専用種について、全国平均価格が発動基準Bを下回ったため、3万円／頭の奨励金が発動します。

さらに、和子牛産地強化計画を作成した地域において、産地強化に資する前向きな取組メニューを行う生産者に対して、別途1万円／頭を追加で交付します。

また、乳用種について、全国平均価格が発動基準価格Bを下回ったため、3万円／頭の奨励金が発動します。

令和4年10月分

（単位：円／頭）

品種区分		全国平均価格	奨励金の額	発動基準価格A （奨励金単価） （1万円／頭）	発動基準価格B （奨励金単価） （3万円／頭）
黒毛和種	北海道	707,059	—	600,000	570,000
	東北	626,941	—		
	本州関東以西・四国	644,727	—		
	九州・沖縄	571,909	10,000（※）		
褐毛和種		511,067	30,000（※）	550,000	530,000
その他の肉専用種		249,142	30,000（※）	350,000	340,000
乳用種		123,640	30,000	180,000	170,000
交雑種		324,124	—	300,000	290,000

※産地強化に資する前向きな取組メニューを行う生産者には、さらに1万円／頭を追加で交付

注1：黒毛和種についてはブロック別の平均価格、その他の品種については全国平均価格を算出しています。

注2：その他の肉専用種については、令和4年6月～10月分までの販売データを用いて全国平均価格を算出します。

注3：価格は消費税込み

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度）発動状況

（単位：円）

販売月		肉専用種 （東北ブロック福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和4年7月	確定単価	0.0	34,163.1	38,371.5
	概算払い単価	0.0	29,910.8	34,380.2
	精算払い単価	0.0	4,252.3	3,991.3
令和4年8月	確定単価	55,710.9	43,261.2	44,452.8
	概算払い単価	53,957.0	41,755.7	43,320.8
	精算払い単価	1,753.9	1,505.5	1,132.0
令和4年9月	確定単価	18,635.4	21,557.7	40,458.6

※生産者負担金の猶予対象牛（コロナ対策）については支払い交付単価の3／4の支払となります。

※R4. 7月販売分より概算払単価は、標準的生産費と標準的販売価格との差額に100分の90を乗じた額から7,000円を控除した額となります。

家畜取引状況報告

令和4年9～10月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
9	雌	357	1,280,400	178,200	534,070	288	1,852	286	227	130
	雄									
	去勢	474	1,295,800	257,400	662,235	314	2,111	281	215	259
	計	831	1,295,800	178,200	607,175	303	2,005	283	442	389
10	雌	323	913,000	200,200	590,772	298	1,986	297	164	159
	雄									
	去勢	462	1,102,200	283,800	667,593	327	2,044	291	269	193
	計	785	1,102,200	200,200	635,984	315	2,022	294	433	352

令和4年9～10月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農協同組合

(税込み)

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
9月 第323回	ホル雄	58	79,200	1,100	29,397
	ホルフリー				
	F ₁ 雌	77	198,000	4,950	97,693
	F ₁ 雄	65	261,800	16,500	126,703
	和牛雌	5	467,500	247,500	364,540
	和牛雄	19	562,100	64,900	392,526
	計・平均	224	562,100	1,100	119,392
10月 第324回	ホル雄	69	67,100	1,100	28,999
	ホルフリー	1	1,100	1,100	1,100
	F ₁ 雌	61	198,000	11,000	114,707
	F ₁ 雄	82	237,600	1,100	134,348
	和牛雌	2	372,900	288,200	330,550
	和牛雄	19	479,600	346,500	437,395
	計・平均	234	479,600	1,100	123,877

令和4年9～10月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

(税込み)

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
9	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	6	585,200	419,100	495,734	4,721	105
	E T 和雄						
	乳雌牛						
	乳雄牛	21	45,100	5,500	22,943	305	75
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	44	206,800	18,700	112,025	1,547	72
	F ₁ 雄(スモール)	56	251,900	11,000	127,128	1,668	76
	計・平均	127	585,200	5,500	122,082	1,604	76
10	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	4	443,300	231,000	356,400	4,455	80
	E T 和雄	5	474,100	257,400	397,100	4,492	88
	乳雌牛						
	乳雄牛	20	61,600	3,300	39,105	512	77
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	43	212,300	11,000	117,956	1,542	76
	F ₁ 雄(スモール)	46	205,700	30,800	124,850	1,615	77
	計・平均	118	474,100	3,300	127,190	1,642	77

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(12月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土
ニュートラック 福島	園田 船橋				水沢		園田					水沢		園田				水沢		園田				浦和			水沢	浦和		園田	水沢
						大井								川崎					船橋					浦和				大井			
オープス磐梯	船橋					大井								川崎					船橋					浦和			浦和		大井		

(1月)

日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ニュートラック福島	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	(月)	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火
ニュートラック福島		水沢	川崎			川崎				浦和						名古屋	船橋						大井								川崎
オープス磐梯		川崎				川崎				浦和						船橋							大井								川崎

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善に活用されています。



地方競馬全国協会